



見沼自然散策

2021.6.12



見沼たんぼ地域ガイドクラブ



タチアオイ



タチアオイのしべ

タチアオイやゼニアオイなどアオイ科の花は、おしべとめしべが花の中央に突き出た軸につく。開花直後はオシベが花粉を出し、その後中央からメシベが顔を出す（雄蕊先熟）花粉を違う花からもらうための仕組み



ゼニアオイ



ネジバナ



ウマノスズクサ



シラカシの小さなどんぐり



シナノキ

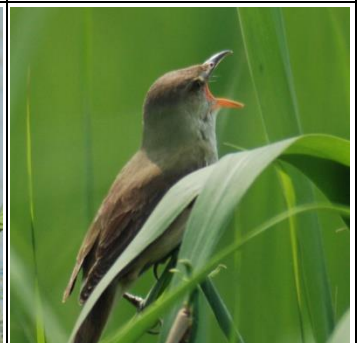


オナガ

←オナガは数羽の群れで暮らす。一羽が飛ぶとそれを追いかけて数羽が姿を見せる。
→コチドリがたんぼで食べるものを探している。たんぼは湿地だから、コチドリには好都合
→オオヨシキリも大きな声で鳴いている。これはオスの縄張り宣言



コチドリ



オオヨシキリ



コムラサキ



コムラサキ

←翅が光の当たる角度によって色が変わり、紫に見えることがあるのでコムラサキ。幼虫は柳の葉を食べて育ち、成虫は樹液に集まるヤナギがあるところで見られる



優曇華の花（クサカゲロウの卵）

→↓優曇華の花はクサカゲロウの卵。孵化した幼虫はアブラムシを食べて育つ。



シオヤアブ



ムモンホソアシナガバチ

←腹部の先の白い毛が塩のようだと付けられたシオヤアブ。見通しの良い枝の先などに陣取り近くを通る虫を捕らえて食べる

←ムモンホソアシナガバチ 5月に見つけたアシナガバチ



クサカゲロウ